

平成29・30年度 文部科学省委託
「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」について（報告）

1 概要

南魚沼市では、平成29・30年度の2年間、文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委託を受け、三用小学校を研究推進校、大和中学校の各小・中学校を重点校として、市内全小・中学校で「考え、議論する道徳」の授業改善を進めてきた。文部科学省の支援事業は、これまで推進校単独で行われてきたが、本市における市全体での取組は、道徳教育の改善・充実のための有効な方法として注目された。

2 事業内容

①市全体での研修会 ②中学校区単位の研修会、③各校での授業研修会

3 事業経費（文部科学省からの委託額）

・平成29年度 410,480円、平成30年度 1,040,000円

4 主な研修事業

(1) 29年度事業

8月8日(火)	①授業づくりワークショップ(大和庁舎) ・新潟青陵大学 中野啓明教授、中越道徳研究会スタッフ	60名
8月25日(金)	②道徳教育講演会(コミュニティホール「さらわび」) ・指導者 東京学芸大学 教授 永田繁雄先生	207名
9月7日(木)	③道徳示範授業・講演会(浦佐小学校) ・愛知教育大学 教授 鈴木健二先生	81名
9月8日(金)	④道徳訪問指導(大和中学校) ・愛知教育大学 教授 鈴木健二先生	25名
11月2日(木)	⑤合同授業研修会(三用小学校) ・公開授業(1年、5年) ・指導 中越道徳教育研究会	99名
1月28日(金)	⑥実践交流会(大和庁舎) ・学習指導センター 担当指導主事	47名
3月	教師用道徳ハンドブック(簡易版)、家庭向けリーフレット作成	

(2) 30年度

4月24日(火)	①道徳科授業づくり研修会(大和庁舎) ・講話と演習 学習指導センター道徳担当指導主事	61名
6月13日(水)	②合同授業研修会(藪神小学校) ・公開授業(2年)、講演 愛知教育大学 鈴木健二先生	45名
6月14日(木)	③道徳科研修会(大和中学校) ・示範授業、講演 愛知教育大学 鈴木健二先生	88名
7月31日(火)	④道徳科研修会(大和庁舎) ・役割演技の模擬授業 上越教育大学 早川裕隆先生	90名
8月9日(木)	⑤授業づくりワークショップ(大和庁舎) ・新潟清陵大学 中野啓明先生、中越道徳教育研究会	42名
8月23日(木)	⑥道徳科研修会(大和庁舎) ・講演 東京学芸大学 永田繁雄先生	107名
11月1日(木)	⑦合同授業研修会(三用小学校) ・授業公開(4年、5年) ・講演 愛知教育大学 鈴木健二先生	86名
11月2日(金)	⑧道徳訪問指導(塩沢小学校) ・授業公開(1年)、講演 愛知教育大学 鈴木健二先生	42名

1 1 月16日 (金)	⑨中学校区学力向上研修会 (大和中学校) ・授業公開 (1年、3年)、協議、指導	1 2 8名
1 2 月26日 (水)	⑩道徳科授業実践交流・評価研修会 (南魚沼市図書館) ・各校実践報告、通知表等の情報交換	4 2名
1 月 1 8 日 (金)	⑪中学校道徳教科書活用研修会 (大和中学校) ・講話 東京書籍教科書編集部、学習指導センター指導主事	3 5名
3 月	教師用道徳ハンドブック、家庭用リーフレット作成	

5 成果と課題

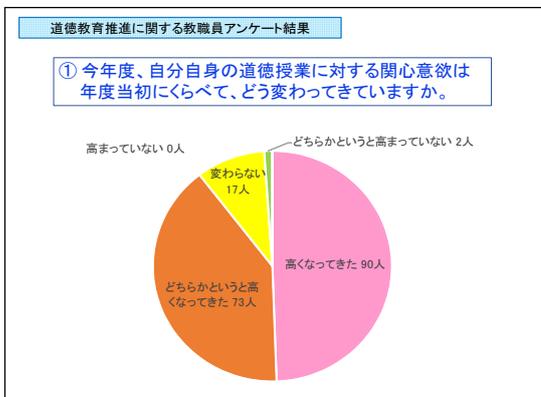
(1) 成果

- 市全体で取り組むことにより、教職員の道徳授業改善への意欲が高まった。
- 特に小学校においては、道徳の教科化がスタートしたことにより、教科書を活用した授業改善が具体的に進み、考え議論する新しい展開の授業が多くなってきた。
- 児童生徒の道徳授業への意欲が高まり、教材への関心や活発な話し合いが増えてきた。
- 特に大和中学校区など中学校区での小中合同の研修を積極的に行った地区では、校区全体での授業改善が進み、児童生徒の積極的な学習の様子が各校で見られた。

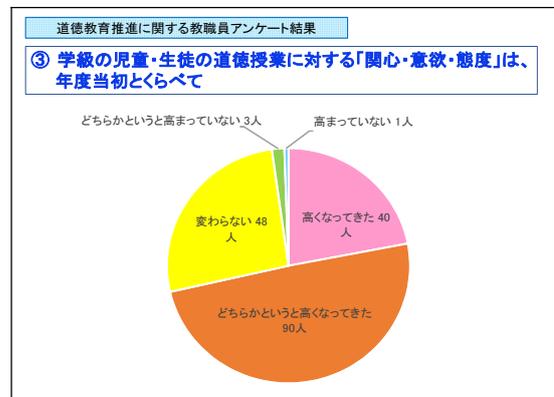
(2) 課題

- 4月から中学校での道徳教科書使用が始まるので、中学校での授業改善が一層求められる。
- 事業終了後も、授業改善の取組が進められるよう、各中学校区での合同研修を強化する必要がある。

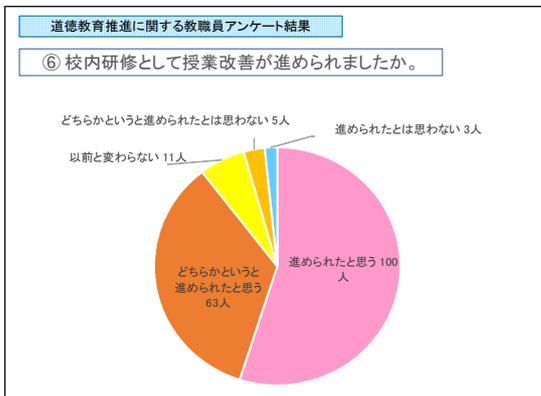
〈学級担任対象の「道徳教育推進に関する教職員アンケート結果」から抜粋〉



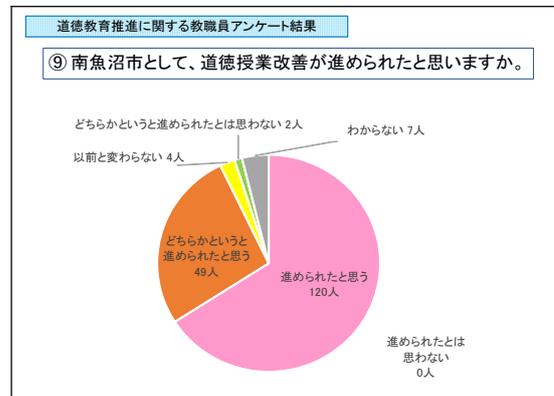
市全体での取組により、教職員の関心意欲は増加傾向にある。



児童生徒の関心・意欲も増加傾向にある。中学校はこれからの本格実施で高めたい。



各校とも授業改善研修に力を入れ始めている。来年度も研修の継続が望まれる。



多くの教職員が市全体での取組に成果を感じている。この勢いを今後につなげる必要がある。